



織田信長公に奉公できるようになつたことを喜ぶ木下藤吉郎（右、のちの秀吉）と、前野小右衛門長康（中央）、蜂須賀小六

# 「武功夜話」の絵解き完成

江南市前野町の旧家に伝わる戦国時代の史料「武功夜話」の内容を軽妙なタツチの戯画で描いた『武功夜話絵解き』が完成しました。

「武功夜話」は同家の先祖で武門を離れ庄屋となった前野氏16代孫四郎雄（1587～1658）が、先祖の武功を後世に伝えるためまとめた古文書。織田信長や豊臣

## 公立図書館などで公開中

秀吉に仕えた前野小右衛門長康（1528～1595）の活躍ぶりや、その時代の出来事が描かれています。

絵を描いたのは同家27代吉田龍雲氏（平成20年没）。全6巻の絵巻仕上げ。絵に添えられていた文は地元の郷土史家、高田健三さんが解説、解説編集は犬山市でデザイン会社を営んでいる高田

和之さんが行い、武功夜話絵解きを発行しました。

絵解きの内容は浮野原合戦や岩倉攻め、桶狭間の戦い、小久地城責、稲葉山焼打など戦いの場面

や、生駒屋敷、墨俣城築城などのほか、虫送りや大豊作など農耕の様子も描かれています。

今回は閲覧用（A5判、210ページ）として16冊発行。

江南市生涯学習課、同市

歴史民俗資料館、同市立図書館、犬山市立図書館、扶桑町図書館、愛知県図書館、一宮市尾西図書館、岐阜県図書館、各務原市立中央図書館、尾北ホーム

ムニユースで見ることができず。高田和之さんは「多数ご要望がある場合、自費出版の増刷（A4判、210ページ）を検討する」と話しています。☎(有)アトリエ

犬山 056-4872

同社ホームページでも一部を公開中。